

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童・生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和3年5月13日

学校名 福井市社北小学校

校長氏名 中谷 忠裕

1 今年度の目標（学校の約束）

- ①学校で省エネ、省資源に努めます。
- ②総合的な学習・委員会活動などで環境について学習します。
- ③地域と連携して、リサイクルに努めます。

2 取組内容

- ①省エネ・省資源
 - ・環境委員会で節電・節水を呼びかけます。
 - ・学校で環境に優しい取り組みを考え、家庭にも伝えるようにします。
- ②環境学習
 - ・社会科、総合学習などで環境について学びます。
 - ・学校田の稲作体験から自然の恵みについて学習します。
 - ・持ち物を大切にするように児童に働きかけます。
- ③ごみ減量・ものの再利用・リサイクル（3Rの取り組み）
 - ・地域と連携して古紙などの資源回収を行います。
 - ・広告や反故紙の再利用に心がけます。

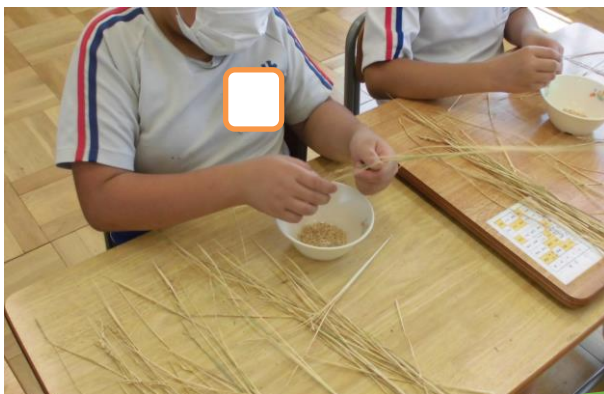
★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載して下さい。）

②環境について児童が協力して調べたり、出来ることを考えたりして主体的に取り組む力をつける。（主体性・協力）

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名 社北小学校	
1 今年度の目標（学校の約束） ① 学校で省エネ・省資源に努めます。 ② 総合的な学習・委員会活動などで環境について学習します。 ③ 地域と連携して、リサイクルに努めます。	
2 取組内容 ① 省エネ・省資源 ・環境委員会が中心となり節電を呼びかけたり、見回り活動をしたりした。また、「節水月間」を設け、節水を呼びかけた。 ・社北小学校の活動とSDGsの目標のつながりを考えた。電気を消す、エコバックを使う等がSDGsにある目標につながることを校内に呼びかけた。 節水を呼びかけるポスターや放送原稿作成 SDGsわたしたちにできること  	
② 環境学習 ・学校田見学（コロナのため）やバケツ稲による稲作体験や調理実習を行い、地域の自然や食べ物を大切にする心を養った。 ・社会科や総合的な学習の時間でごみの分別やリサイクルについて学んだ。 ・SDGsがなぜ必要なのか等についてカードゲームで学んだ。 学校田見学・バケツ稲作り 田植え、水の管理、稲刈りと大事に育てました   	

収穫したお米の脱穀やもみすり体験



とても根気のいる作業で、お米一粒の大切さを知りました。

クリーン大作戦でごみの分別についてごみの分別について学習



何でできているか、素材に注目しました。



ごみ収集車等を手作りし、実社会をまねてごみを回収したり分別したりしました。

③ ごみ減量・ものの再利用・リサイクル（3Rの取り組み）

- ・持ち物に名前を書くように呼びかけ、取り組みがよかったクラスを放送で発表した。
- ・エコバックを使うことを呼びかけた。
- ・地域と連携して古紙回収（各家庭収集場所に持ち込み）を行った。
- ・環境委員会によるリサイクルBOX設置と古紙回収

リサイクルBOXに集まった古紙を回収

物を大切にしよう呼びかけるポスター



不要となったお便りやプリント類は、リサイクルボックスへ入れるよう呼びかけました。集めた古紙は、地区の資源回収日に出します。

★ESDポイント

- 米作り体験でお米を作るたいへんさを知り、自然や人に感謝する気持ちをもつことが出来た。(連携性・協力)
- 委員会活動で、SDGsのために私たちが出来ることを子どもたち主体で考え校内に呼びかけた。(参加)

3
見
直
し

【具体的効果】

- ・SDGsの17の目標と自分たちの取り組んできた活動を照らし合わせ一人ひとりの行動が環境を守る活動につながることを意識できた。

【改善点】

- ・一人ひとりが主体的に環境を守ることに取り組めるように、楽しくわかりやすい活動を取り入れていきたい。